

(1) 松くい虫被害の発生について

岡谷市内において、アカマツの枯損木からマツノザイセンチュウが検出され、松くい虫被害が確認された。

1) 被害木の場所等

場 所：岡谷市内山 標高 990m 付近（塩嶺工業団地付近、塩嶺峠から南へ約 500m）

被害木：アカマツ 63 年生 1 本

2) 経緯

7 月 30 日：岡谷市松林監視員が巡回中に枯損木を発見。

8 月 7 日：枯損木から検体を採取し、諏訪地域振興局（林務課）へ検体を提出し鑑定を依頼。

8 月 10 日：諏訪地域振興局の一次鑑定によりセンチュウを検出。

8 月 17 日：長野県林業総合センターの二次鑑定によりマツノザイセンチュウを検出。

8 月 21 日：岡谷市に陽性反応の鑑定結果報告。

3) 対応状況

8 月 23 日：被害木の周辺調査を実施。

①半径 50m～100m：ヤニ打ち調査及び目視調査

②半径約 2km 範囲：目視調査

※半径約 2km 範囲の目視調査において新たな枯損木 7 本を確認した。

8 月 27 日：被害木について、伐倒及びくん蒸処理。（裏面）

8 月 30 日：市長定例記者会見で公表。

8 月 30 日：7 本の枯損木の検体を採取⇒検体採取中に新たに 3 本見つかり、計 10 本の検体を採取。

9 月 3 日：諏訪地域振興局の一次鑑定により 10 本中 4 本からセンチュウを検出。

9 月 6 日：二次鑑定の結果、4 本とも陰性であったとの報告あり。

※その後も監視や通報により数本の枯損木が発見され、検体採取及び鑑定を実施しておりますが、全て陰性反応となっております。



(3) 岡谷市の松くい虫防除対策について

基本的な考え方

岡谷市の大切な松林を守るべく、早期発見・早期駆除を第一に、全市をあげて松くい虫被害を食い止めます。

- ・ **監視**について

被害木周辺区域の監視を強化するとともに、市内全域において、引き続き松林監視員等による監視を行い、枯損木や異常木の早期発見及び早期駆除に努めます。

- ・ **伐倒・駆除**について

市内で被害木が発生した場合、被害まん延防止のため緊急対策として市で伐倒・駆除を実施します。

- ・ **予防**について

予防対策として行なう樹幹注入、薬剤地上散布（消毒）に要する材料費（薬剤）に対する補助制度を整備します。

- ・ **周知**について

広報、ホームページ、回覧などによる注意喚起を行います。
なお、今後も陽性反応が出た際にも公表してまいります。

防除対策予算(H30年10月～H31年3月)	
伐倒・駆除	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は既存予算の流用により、伐倒・駆除を実施(予算200万円) ・平成31年度以降も継続的に予算を確保
予防	<ul style="list-style-type: none"> ・樹幹注入、薬剤地上散布(消毒)に係る補助制度を整備 ・平成31年度からの実施を検討

【参考図】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
カミキリ	幼虫	幼虫		蛹									
	成虫脱出			成虫脱出									
	後食			後食									
	産卵				産卵								
		幼虫											
被害	当年	当年枯れ						職員、監視員が現場に出た際などに実施					
	翌年	年越し枯れ											
監視体制		監視【2人*2チーム）、2回／月】											
伐倒・駆除		通常処理	緊急処理					通常処理					

※年越し枯れとは、感染した年には枯れず、翌年に枯れることで、寒冷地で見られる被害形態。

※緊急処理とは、疑わしい木については鑑定結果を待たずに伐倒・駆除の実施をする。

(鑑定結果が出るまでに時間を要し、羽化脱出してしまうため緊急的に行なう必要がある)